

1 授業改善・指導力の向上

(1) 「指導の基」の活用

草加の教育の基本理念や教科等の授業改善ポイントなどを示した「指導の基」を全教員に配布し、日々の授業で活用しています。また、指導訪問や要請訪問、校内研修等でも活用することで授業改善及び教員の指導力の向上を図っています。



国語科 授業改善に向けて

【草加市の実施】

各種調査結果及び学校訪問等から
小学校：授業や準備、事実と原因、意見の区別、結論付けを明確にして、説明文を教んだら、自分の考えを書いたり読んだりする必要がある。
物語を読む際は、基本的な構成要素を、筋道を基に理解した上で、想像を豊かにしながら読む必要がある。
中学校：自分の立場及び伝えたい事実や事柄、根拠を明確にして、文章や筋の構成を工夫して書くことや、相手に分かりやすいように語句を選択して話すことができるようにする必要がある。

改善のポイント

- ① どのような言語能力を身に付けさせるかを明確にする
- ② 「言語能力を育成するための言語活動を設定する」
- ③ 「言語能力の育成のための課題の提示、発問、まとめ、振り返りを行う」
- ④ 「身に付けた言語能力を日常生活や社会生活で生かせる場面を意図的に設定し、系統的に指導を積み重ねる」

【課題解決のための授業改善の視点と具体的手法】

1 実用的な文章を意図した書く活動

- 目的や意図を明確にして、書く事柄を選び、書きたいことの中核や自分の思いが伝わるように書くことを指導する。
- 書く活動を選択肢だけでなく、各教科等に意図的、計画的に設定する。
- 伝統的な言語文化や国語の弊習に関する事項と関連させ、練習の語や語句、文法事項等については、日常生活や社会生活で使用する文や文章の中で適切に使うことができるように指導する。

2 交流等を通して、自分の考えを広げたり深めたりする活動

- 友達との話し合いから自分の意見をより良いものに推敲したり、書き加えたりすることができるように指導する。
- 日常の書き物において、筋道と自分の体験や他者の解釈を結び付けたり、他の作品と比べてたりして読むことを指導する。
- 交流する際は、自分の経験や考えなどの共通点や相違点、共感するところや自分の考えに取り入れたいところ、改善点などを中心に話したり聞いたりし、相互に意見が交換されるように指導する。

3 文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む活動

- 何のために、何を知らたいのか、どのような情報が必要なのか、という目的を明確にした上で、全体の構成を把握しながら読むことができるように指導する。
- 必要な筋道を推し、他の部分に書かれている筋道と比較したり、図表等と関連付けて情報を把握したり、自分の知識や経験、考えなどと関係付けたりしながら自分の考えをまとめることができるように指導する。

授業改善リーフレット2巻

学びの足

No.37 令和3年度
草加市教育委員会
草加市教育委員会
草加市教育委員会

*** 「指導と評価の一体化」で授業改善助 ***
～「小・中学校 道徳科」編～
「登場人物に関する自己探求と中心の学習」

※今回は、「指導と評価の一体化」の観点から、「登場人物に関する自己探求と中心の学習」について紹介しています。

登場人物に関する自己探求と中心の学習とは、どのような学習ですか？

登場人物に関する自己探求と中心の学習とは、登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や行動などを理解し、登場人物の行動や心情を自分の言葉で表現したり、登場人物の行動や心情を自分の経験や知識と関連付けたりすることです。

登場人物に関する自己探求と中心の学習の具体的な学習活動は、どのようなものがありますか？

登場人物に関する自己探求と中心の学習の具体的な学習活動は、登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や行動などを理解し、登場人物の行動や心情を自分の言葉で表現したり、登場人物の行動や心情を自分の経験や知識と関連付けたりすることです。

登場人物に関する自己探求と中心の学習の具体的な学習活動は、登場人物の登場理由や登場場面、登場人物の心情や行動などを理解し、登場人物の行動や心情を自分の言葉で表現したり、登場人物の行動や心情を自分の経験や知識と関連付けたりすることです。

「登場人物に関する自己探求と中心の学習」の学習

高学年	学習目標	学習内容	指導上の留意点
1	登場人物の登場理由や登場場面を説明し、登場人物の心情や行動を自分の言葉で表現する。	登場人物の登場理由や登場場面を説明し、登場人物の心情や行動を自分の言葉で表現する。	登場人物の登場理由や登場場面を説明し、登場人物の心情や行動を自分の言葉で表現する。
2	登場人物の登場理由や登場場面を説明し、登場人物の心情や行動を自分の言葉で表現する。	登場人物の登場理由や登場場面を説明し、登場人物の心情や行動を自分の言葉で表現する。	登場人物の登場理由や登場場面を説明し、登場人物の心情や行動を自分の言葉で表現する。
3	登場人物の登場理由や登場場面を説明し、登場人物の心情や行動を自分の言葉で表現する。	登場人物の登場理由や登場場面を説明し、登場人物の心情や行動を自分の言葉で表現する。	登場人物の登場理由や登場場面を説明し、登場人物の心情や行動を自分の言葉で表現する。

(2) 草加っ子の基礎・基本

草加っ子の基礎・基本
～笑顔かがやく草加っ子～

【知】の基礎・基本
＜じっくり聞いて じっくり考え 進んで学習＞

- 人の話をじっくり聞きます
- 自分の考えをもち、伝えます
- 興味・関心をもち、進んで学習します
- 進んで読書します
- 家庭学習をします

【徳】の基礎・基本
＜礼を正し 場を清め 時を守る＞

- 自分や友達を大切にします
- ありがとう、ごめんなさいを素直に言います
- あいさつや返事、ていねいな言葉づかいをします
- 身の回りの整理整頓をします
- 登下校や授業の始まりなどの時刻を守ります

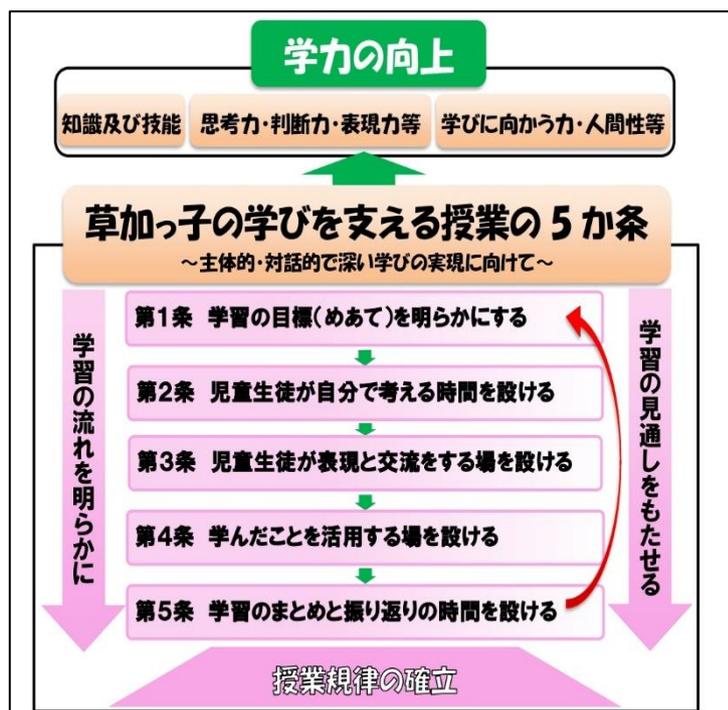
【体】の基礎・基本
＜元気に運動 しっかり食事 くつすり睡眠＞

- 力いっぱい運動をします
- 「早寝早起き朝ごはん」をします
- 交通ルールやマナーを守ります
- テレビやゲーム、スマホなどの使い方に気を付けます
- ものごとに粘り強く取り組みます

「草加っ子の基礎・基本」は、幼保小中を一貫した教育で掲げる「目指す草加っ子15歳の姿」の基盤となる「できるようになってほしいこと」と関連を図り、知・徳・体の基礎・基本をさらに5つずつに細分化し具体的に示しています。

全てをバランスよく指導していくことを目指しますが、特に指導課が進める研究である「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」「主体的・対話的な深い学びを実現するための授業づくり」に関連するものを中心に指導訪問などで指導・支援しています。

(3) 「草加っ子の学びを支える授業の5か条」



草加っ子に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力を育成するために、具体的な授業改善の方策として、「草加っ子の学びを支える授業の5か条」という授業に取り入れてほしい手立ての徹底を図っています。

発達段階や教科領域の特性に即しながら、草加市の全ての教員がこの5か条を意識した授業を行うことで、児童生徒の学力向上及び指導力向上に向けた授業改善を図っています。

また、指導案の本時の展開に5か条を明記するなどの活用についても、確実に行うように徹底しています。

(4) 草加市学力・学習状況調査

児童生徒一人ひとりの達成状況・課題を把握し、各学年における学習内容を当該年度内に確実に定着をさせることを目的に、草加市独自で「草加市学力・学習状況調査」を実施しています。小学校3～6年生は国語・算数、中学校1・2年生は、国語・数学・英語、小中学校全学年で質問紙調査を実施しています。令和3年度からは、小学校5・6年生及び中学校1・2年生を対象に、理科の学力調査も加えて実施する予定です。

今年度は、12月に調査を実施し、2月上旬に結果資料を返却する予定です。2月上旬に開催する第3回学力向上対策研修会では、調査結果等の活用方法について周知するとともに、課題解決に向けて指導助言、情報提供を行い、当該年度に身に付けるべき学習内容の確実な定着を図ります。

(5) 学力向上対策研修会

市内小中学校の校長及び学力向上担当教員等を対象に「学力向上対策研修会」を年3回実施します。

10月：第1回学力向上対策研修会

県教育局義務教育指導課の指導主事を講師に埼玉県学力・学習状況調査結果の分析や活用の仕方について研修します。調査結果が送付された後に実施することで、自校の分析や学力向上に向けての取組を検討する機会とします。

11月：第2回学力向上対策研修会

研修会を全体会と分科会に分け、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の分析結果について周知します。特に、分科会は、国語科、算数・数学科、英語科の各教科主任を対象とし、結果を踏まえた授業改善の具体について協議します。

2月：第3回学力向上対策研修会

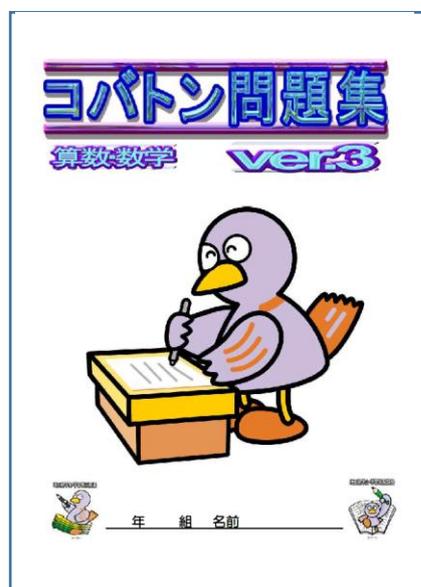
草加市学力・学習状況調査の調査結果等の活用方法について周知するとともに、課題解決に向けて指導助言、情報提供を行い、当該年度に身に付けるべき学習内容の確実な定着を図ります。

【コバトン問題集及び復習シート等の活用について】

埼玉県教育委員会が発行している「コバトン問題集」について、各校の状況に応じて、補習教材や補助教材として積極的な活用が図られるよう情報提供しています。

また、埼玉県教育委員会が発行している「復習シート」を草加市のホームページに掲載し、学校だけではなく各家庭に周知することで、家庭学習の推進を図っています。

今後も、学力向上対策研修会を通して、草加市全体の授業改善のポイント等を明確に示し、学力向上担当教員が各校の推進者として、「コバトン問題集」や「復習シート」などを確実に活用することを徹底し、児童生徒の更なる学力向上を目指します。



(6) 指導訪問・委嘱研究の充実

①指導訪問について

≪学校訪問≫

市教育委員会の計画に基づき、埼玉県教育局南部教育事務所等の協力を得て、市内全小中学校を訪問して全ての教員の授業を参観し、「指導の基」を活用しながら、草加っ子の基礎・基本の着実な定着と学力向上に向けた授業改善について指導しています。

≪要請訪問≫

指導主事及び学力向上担当指導員が、各校からの要請による校内授業研究会や各教科の市教育研究会の授業研究会等で、教員の指導力向上を目的とした指導をしています。

今後も、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を受けて、各教科担当の指導主事による教員への授業力向上や授業改善を目指した指導及び支援を継続的に行い、児童生徒の学力向上を目指します。

さらに、教育委員会のリーダーシップのもと、各校の校内研修等での授業研究会や教育委員会主催の各種研修会等を通して人材育成に取り組むとともに、指導力のある教員を活用した授業力を高める取組を推進し、教員の資質向上を図っていきます。

②研究委嘱について

児童生徒がこれからの時代を見据えた資質・能力を身に付けられるよう、また、目指す「草加っ子」（15歳の姿）の実現のため、次のとおり研究委嘱等を行い、それぞれの学校へ指導主事が指導助言や支援をしています。

☆令和3年度 埼玉県学校安全総合支援事業（埼玉県教育委員会委託）

	学校名	研究領域
1	新里小学校	交通安全、災害安全
	両新田小学校	
	両新田中学校	
	【研究の目的】 質の高い学校安全の取組を推進し、児童生徒一人ひとりが自分の身を守ることができるように知識・理解を深めます。	

☆令和2 令和3年度 草加市教育委員会研究委嘱 草加っ子「生きるカプラン」

	学校名	研究領域
1	高砂小学校	自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり
	瀬崎小学校	
	瀬崎中学校	
	【研究の目的】 自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を通して「確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる児童生徒の育成」を目指します。	
2	川柳小学校	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり
	八幡北小学校	
	青柳中学校	
	【研究の目的】 学級経営を基盤として「学ぶ喜びを味わわせる授業の創造」を目指します。	

☆令和3 令和4年度 草加市教育委員会研究委嘱 草加っ子「生きるカプラン」

	学校名	研究領域
1	新田小学校	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり
	長栄小学校	
	新田中学校	
	【研究の目的】 人・地域・自然とのつながり15歳の姿・心をはぐくむ実践を通して「学びの生活化・社会化」を目指します。	
2	新栄小学校	自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり
	清門小学校	
	新栄中学校	
	【研究の目的】 主体的に学びに向かう力の育成を通して「夢や希望を持ち、学び続ける子ども育成」を目指します。	
3	稲荷小学校	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり
	松江中学校	
	【研究の目的】 各教科の指導と評価の一体化を通して「自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成」を目指します。	

☆令和3年度 草加市教育委員会研究委嘱 草加っ子「読書活動推進プラン」

	学校名	研究領域
1	草加小学校	読書活動の充実
	西町小学校	
	草加中学校	
	【研究の目的】 読書環境の整備・読書習慣に関する取組を通して「多様な読書体験から、自ら読書に親しむ児童生徒の育成」を目指します。	
2	八幡小学校	読書活動の充実
	青柳小学校	
	川柳中学校	
	【研究の目的】 子どもが行きたくなる学校図書館運営を通して「自ら本に手を伸ばし、主体的に学ぶ児童生徒の育成」を目指します。	